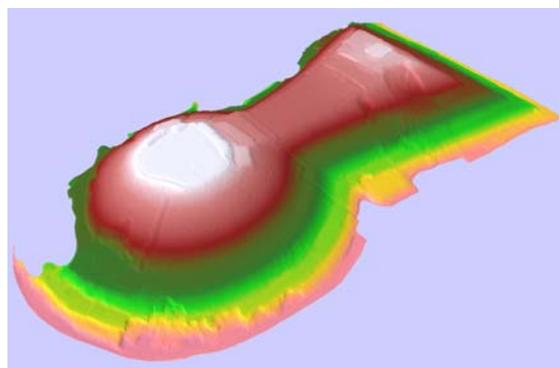


# 岡山市造山古墳第2次発掘調査のご案内

下記の予定で、国指定史跡岡山市新庄下造山古墳周辺部の第2次発掘調査を実施しますのでご案内申し上げます。

造山古墳は、5世紀前半に築かれた全国第4位の前方後円墳で、2005～2007年度に岡山大学考古学研究室が墳丘の測量調査を実施し、2008年度から周辺部の発掘調査を進めています。立ち入ることのできる最大の古墳として、これまでさまざまな論及がなされてきましたが、周濠等の外周施設の有無などの意見が分かれています。



そのため、岡山大学考古学研究室では、(1) 墳丘長の確認、(2) 周濠等の外周施設の確認、(3) 埴輪等の年代を推定できる遺物の確認を目的に、史跡指定地外の発掘調査を実施しております。

発掘は3か年計画で、今年度の発掘区は、後円部北東側の水田の畔に円弧がみられる部分と、前方部前面の主軸沿いとなります。

調査には、岡山大学考古学研究室の1年生から大学院生までが参加します。3月13日(土)は休みとしますが、他は雨天を除き毎日作業を行っており、随時見学が可能です。また、3月20日(土)に現地説明会を開催する予定(雨天翌日)ですので、機会がありましたら是非お立ち寄りください。

2010年2月12日  
岡山大学考古学研究室  
新納 泉  
調査参加学生一同

## 記

調査期間	2010年3月6日～3月31日(予定)
調査担当	新納 泉
場 所	吉備線備中高松駅下車南西約2km(造山古墳東側に駐車場有り)
宿 舎	岡山大学吉備文化共同利用施設 (〒701-1341 岡山市北区吉備津 1666 086-287-6906)
連絡先	086-251-7418(新納)、090-4899-5347(新納携帯)



駐車場

発掘区の位置